

# 災害時用レトルトカレーを給食で食べて防災意識を高める

(岐阜県土岐市・土岐市教育委員会)

学校給食用非常食を備蓄する中、毎年1回、防災の日になんで、給食の一品として備蓄食料を提供。児童の防災意識を高めることができ、かつ提供したら買い足すことで、賞味期限切れすることなく、非常食を有効活用。

- 岐阜県土岐市教育委員会は、小学校・中学校の給食で、「命を守る訓練・救給カレーの日」と題し、備蓄している**非常食のレトルトカレーを、年1回提供。**

※2015年から備蓄を始め、2016年から毎年1回、給食で提供を開始。

- 土岐市立土岐津小学校では、**校長先生が、昼の放送で、児童に向けて非常食について説明。**

もしもの時は、思いもよらないことがたくさん起こります。非常食も実際に食べる体験をしておくことで、災害時でも安心して食べることができると言われています。今日は、災害について話し合ったり、非常食を実際に食べてみる体験をしましょう。

〈2018年9月6日に提供された給食メニュー〉



小・中学校の給食メニュー  
小型パン・救給カレー・ウインナー・海藻サラダ・ヨーグルト・牛乳



〈レトルトカレー容器の裏面〉

温めずにそのまま食べられる。スプーン付き。立てられる容器なので、皿等に移し替える必要がない。